



サポート従事者スキルアップ研修会開催

CTF 松阪恒例の夏季パソコン講座、10月はサポート従事者スキルアップ研修会を開催しました。
テーマは三つ

- 意思伝達装置「マクトス」の設定および操作訓練
- エクセルの活用法
- ワードの活用法

各テーマごとにその道の専門家を講師にお迎えし、広範囲かつ奥深い内容の講義を受けて、受講者の皆さんは今後のサポート現場で活かせる知識・技能が得られました。

今年の夏季講座はこれで終了しました。来年も機会があればまた開催をしたいと考えております、ご意見・ご要望がありましたら事務局までご連絡ください。



写真：10月15日の研修会



愛郷無限



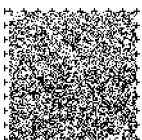
私のふる里は緑豊かな山間地域。かつて林業で栄えた村も、今はその面影もありません。
振り返れば、私も団塊の世代で定年を迎え3年目になります。

私たちが育ったのは、戦後の貧しい時期でしたが、子供の数も多く地域には活気が感じられました。勉強はあまりしませんでした。小学校1年生から中学校3年生まで不思議と皆が集まり、夕方遅くまで一生懸命遊びました。その事が教室では教わらない何かを身に着けたと思います。

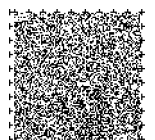
昔を思い出したくて、昔を忘れないようにとの思いから仲間と「炭焼き窯」を作りました。その事は皆様もご承知の事と思います。活動を続けるうちに、この「炭焼き窯」の存在が思わぬ展開を見せ、多くの人との出会いをもたらしてくれました。

今、その友人と取り組んでいるのが「甲冑作り」です。松阪市観光協会の方の指導で毎週木曜日に自宅で行っています。1領目の完成は12月末の予定です。2領目を作りたいのですが人手が足りません。CTF松阪の皆様が協力していただけるとありがたいのですが。

感謝の丘・ほたる窯 代表 三田 守



今月号は文字数が多いので、第1ページと第4ページにSPコードを2個付けてあります。第1ページと第4ページでは、先に左下のSPコードを、次に右下のSPコードを読んでください。





ウイルス検知法(1) パターン・マッチング

「ウイルスの特徴を外見の一部から判断する」という方法は最も古くからあり、かつ有効な手段で「パターン・マッチング」と呼ばれている。

パターン・マッチングでは、その決め手となるのが「ウイルス定義ファイル」と呼ばれるデータベース・ファイルで、このファイルには複数のウイルスの特徴(命令やビット配列)が納められていて、各ウイルス対策ソフト・ベンダーのノウハウが凝縮されている。

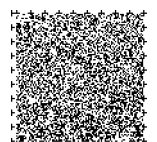
ウイルス対策ソフトは怪しいファイルの中身を走査し、ウイルス定義ファイルに記録されているパターンと一致する部分があるかどうかを調べる。これが「パターン・マッチング」という名前の由来である。もし一致するパターンがそのファイルの中に存在すれば、このファイルはウイルスに感染している可能性があるかと判断します。

怪しいファイルの中からウイルスを発見できるかどうかは、ウイルス定義ファイルにウイルスのパターンが記録されているかどうかにかかっている。ですからウイルス対策ソフト・ベンダーは新種のウイルスが発見される度にこのファイルを更新しています。一般的なウイルス対策ソフトには、この最新版のウイルス定義ファイルをインターネット経由で自動的に入手する仕組みが用意されています。

ただしこの「パターン・マッチング」という手法には大きな問題がある。それは偶然にもパターンと完璧に一致する個所を含むファイルが存在した場合、「何を規準にそれがウイルスかどうかを判定するのか」という問題である。

この問題に対処するため、ウイルス対策ソフトはパターンと比較するファイルの部分を特定の位置に絞り込んでいる。「基本的にウイルスはファイルの中で実行される可能性の高い特定の個所に感染することが非常に多い」という経験則があるからである。

つづく



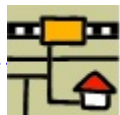
活動報告

【10月】

障がい者対象個人向けパソコン講座
(2日、9日、16日、23日)

サポート従事者スキルアップ研修会
(1日、15日、22日)

訪問ITサポート
(17日、22日、30日)



駅をたずねて

櫛田駅

先月訪れた東松阪駅の隣の駅が櫛田駅です。この駅も普通電車しか停まりません。

この駅は、複線の通過線の両側に2面のプラットホームと2本の線路を持つ地上駅で、改札・コンコースは地下、ホームは地上にあります。(写真上)

古代、倭姫命がこの地を通られたときに、櫛を川に落とされたことから「櫛田」という地名がついたと伝えられている由緒ある土地にこの駅はあります。

駅の東北東約0.7kmのところには櫛田神社があります。この神社は理容美容業の方々の信仰を集め、例年9月には、櫛やブラシに感謝し理容美容技術の向上を祈念する「櫛まつり」が開催されます。(写真下)

駅から西約1.7kmのところには県立松阪商業高校があるので、朝夕の登下校時には高校生の乗降でにぎわいます。

路線名：近鉄山田線

所在地：松阪市豊原町1131-5

開設年：昭和5年

乗車人員：1日平均628人(平成21年度)

出典・平成23年刊三重県統計書

活動予定

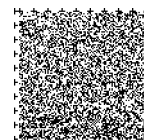
【11月】

障がい者対象個人向けパソコン講座
6日、13日、20日、27日
各9:30~11:30
松阪市障害者福祉センターにて

ホームページに掲示板を設置

CTF 松阪のホームページに掲示板を設置しました。

トップページから[会員のページ] - [掲示板]とたどり、お気づきのこと何でも結構です、書き込んでください。



山口県での再スタート

H. H

CTF松阪会員の皆さま、ご無沙汰しております。

今春、十数年間を過ごした三重県から山口県周南（しゅうなん）市にUターンしました。帰郷した直後は文字通り「浦島太郎」状態で、まず地元の細かい地名はもちろんの事、平成の大合併による再編後の市町村名もよく分からない状態で、いろいろと覚えるのが一苦勞でした。そして、Uターンにあたり心配していたのが、山口県内の景気の著しい悪化です。昨年からも次々と半導体やコンビニ関連の大きな工場が閉鎖に追い込まれるなど、正に氷河期に例える事ができ、先日も周南市の老舗百貨店である近鉄松下百貨店（山口にも近鉄グループがあります）が今年創業50周年にして閉店の発表を行うなど暗いニュースが多いです。山口の企業で全国的に調子がいいのは衣料品チェーンの「ユニクロ（UNIQLO）」ぐらいで、全体的には三重県の方が景気は良いと思います。

私も少子高齢化時代の到来を考えて、介護関連の資格を3年前に鈴鹿短期大学で取得しました。それを活かして未経験ながら介護の仕事に取り組むことにしました。そこで親が強く勧めた親戚が運営する病院への就職はやめて、今春前に祖母が亡くなった病院に転職する事になりました。一応、身分は正社員なのですが、介護の業界はまだ医療より下に位置しており、様々な点で発展途上（成長分野）と言えるでしょう。しかし、世間の光が当てられる事で働く人もそこに住む人たちも、様々な面で前に進むことが期待されています。

とはいえ、私にとっては、今年度は大きな変化の年です。十数年ぶりの帰郷、介護での仕事、初めての正社員、そして車も初めて買いました。インターネットで見つけた名古屋の中古車ディーラーから、車種はホンダ・インサイト。しかし、地元で買うより断然安かったのですが、ガソリン高も考慮して通勤以外は相変わらず自転車に乗っています（笑）。今回の近況話はこの辺で……。 (つづく)

編集後記



巳年の年賀葉書が売り出され、冬の便りが少し聞こえてきます。色づいた木々も、少しの風でパラパラと散り始め冬が近づきます。インフルエンザの予防接種も11月から始まります、皆さん忘れないでくださいね。此の冬も元気で楽しく過ごしましょうね。



CTF 通信第 116 号

2012年（平成24年）11月発行

発行者 ITを活用した障がい者支援NPO法人

CTF 松阪

発行責任者 川 口 保 美

住 所 〒515-0081

松阪市本町 2181-1

電 話 0598-21-7268

U R L <http://ctf.dip.jp/>

